

発行 宮城県こもれびの森 森林科学館
〒987-2512 宮城県栗原市花山草木沢角間 10-7

TEL&FAX 0228-56-2330
http://mifi.main.jp/komorebi.htm



イベント報告 -ウッドランドクラブ8月-

～川遊びと夏休みの工作を楽しもう～

8月のウッドランドクラブは、夏休み本番の子供たちのためのイベントです。「もっと遊びたい、でも宿題が・・・」というこの時期ならではのテーマです。川遊びは例によって草木川でのイワナのつかみ取りです。

今回も、花山漁協さんの特別のご協力によりイワナを用意することができました。清流に泳ぎまわるイワナを、子供たちは必死に追いかけてました。

その後は、イワナを自分でさばいて塩をふり、串焼きにする体験です。



＜イワナと川遊び＞

イワナが焼けるまでの時間は、工作作りです。今回は、岡本さんを講師に流木を素材にしたクラフトや、布を利用した帆船作りに挑戦しました。

皆さん思い思いの発想で、世界に一つの作品を作りました。帆船の工作では、何故かお父さんが途中から熱中し出したのが印象的でした。きっとお父さんも子供の頃を思い出し、夏休みを楽しんだのではなからうかと思っております。



＜本格的な帆船です!!＞

こもれびの森の かわいいことりたち

こもれびの森サポーターで
専属ことりカメラマン(?)の
大友さんのコーナーです

“ミズキの実と小鳥たち”

“ミズキの実”が食べごろになりました。たくさんの小鳥が食べに集まります。黒っぽいものが熟した実です。選んで食べています。

①家族で食べに来たのはメジロです。十数羽います。2本の大きなミズキの実を10日ほどでほぼ食べつくしました。

②オオルリの幼鳥です。メジロの数に圧倒されたのか、すぐに飛び立ってしまいました。

③若いコサメビタキです。くりっとした目がかわいい鳥です。(大友)



＜①メジロ＞



＜②オオルリ幼鳥＞



＜③コサメビタキ＞

生き物いろいろ



～身近にいる小さな虫たち～

“ニコニコマーク”

9月5日、こもれびの森の観察会で出会ったカメムシの子供達です。キブシの葉っぱの裏に身を寄せ合っていました。

彼らはアカスジキンカメムシの幼虫(3齢)で、成虫は緑色や青色の光沢の羽に亀甲模様で縁取られていて「歩く宝石」の異名を持ち、カメムシの中でも最も美しいと言われていました。

子供たちの模様は笑顔そのもの。みんな大きな口をあ〜んと開けてニコニコ顔。何とも微笑ましい感じでした。(は)



＜①にこ〜＞



＜③「歩く宝石」
アカスジキンカメムシ(成虫)＞



＜②みんなニコニコ!＞

まめちしきコーナー “花や木などのチョットした知識”

～役に立つ「イヌ」・・・イヌサフラン(イヌサフラン科)～

野草や樹木には「イヌ」の名がつくものがあります。似ていて違うもの、役に立たないものといった意味合いでつけられています。「イヌタデ」や「イヌザンショウ」などはその例です。

「イヌサフラン」は球根性の外来植物で、「サフラン」(アヤメ科)とは全く別の植物です。葉や球根などに「コルヒチン」を含む有毒植物です。春に出てくる葉が「ギョウジャニンニク」にそっくりで、誤って食べて死亡する例があります。コルヒチンは、古代ローマ時代から痛風の特効薬として用いられていましたが、副作用が強く命を落とすこともしばしばあったようです。現代ではコルヒチンは、薬学的、化学的に抽出されて、「痛風薬」として認可を受けて販売・処方されています。

またコルヒチンは、植物の細胞分裂や染色体に影響を与える物質で、これを利用して品種改良に利用されています。例えば、「種なしスイカ」の栽培にはコルヒチンが利用されます。「イヌ」がについても医薬品や品種改良では大変役に立っている植物です・・・(千葉)



＜秋に咲くイヌサフラン＞

科学館情報

ポケモンGO!!

子供たちにとり、今年の夏休みの話題NO1は「ポケモンGO」でしょうね。当館でも県からのお達しにより、注意喚起の立て札を作りました。作り終えてから、ここは携帯の電波が入らない!!ということに気が付き、取り外そうと思いましたが、突然、偶然、間違っても、ここに現れたなら、さそかし人気スポットになるだろうと立てたままにしています・・・森林科学館ならではの情報でした。

